

“自転車わだち”は皆さんに支えられて元気です

「自転車の修理が出来るなら店やらない？自転車屋がなくて松川や大町へ持っていくってあるよ。」と言われ生来おつちよこちよいな私も他のことならいざ知らず、修理で困っている耳にすると、今まで眠っていた商人魂が目覚ました。

オリジナル自転車つくりと販売に力を注いだ昔が懐かしい。13歳で単身大阪で鍛えられた親爺の商人魂が私の心をゆする。

「商いは私欲を棄て手を差し出す」あれ！これは墓場から。「お前はこちらに来る前に少しやり残していることがあるだろう」とアルプス越えの風にのって耳に届く。



“わだち”に足を運んで下さるお客さんから、連日「良かった」「助かった」とうれしい賛辞をいただいています。「ありがとう」と店を後にするお客さんの背に頭を下げ、これからも皆さんと私のあたら

なぜ軍事費をこんなに増やすの

国は軍備は抑止力の為に必要だと言うが、6年連続で増えつづけ過去最高の5兆円にも膨らんでいます。

地上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」を秋田県、山口県の陸上自衛隊演習場に配備することですが、有事（戦争）の際は最優先で敵の標的になると言われています。

万が一標的になれば周辺の機器はすべて機能を失います。国が私たちを守ってくれるからと安心ばかりしてられない現実には不安を感じざるをえません。

アメリカを守る？盾になる

らしい安曇野の地に描いていくことの幸せをかみしめています。

壮年期には得られなかった感慨が新鮮です。

3丁目

“自転車わだち”店主

秋吉 精一郎

このミサイルは2基で2680億円だそうです。

地元への説明会も続いているようですが国はどう対処をするのでしょうか。気になります。すべて私たちの生活にも直結してきます。

8月は全国あちらこちらで戦争の非人間的な悲惨な体験を聞く機会がありました。どんなに科学が進歩しようと、手法が変わろうと戦争は人を殺すことに変わりありません。際限のない抑止力は軍事産業を拡大することになります。

国の借金が1049兆円で1人あたり826万円だと聞ける

ば“ぞー”とします。一方で消費税の10%増税はすでに来年10月に予定されています。私たちの未来

「介護離職ゼロ」は口先ばかり

家族などの介護や看護のために仕事を辞めた介護離職者が年9万9100人にのぼることが総務省の2017年就業構造基本調査で分かりました。

安倍政権は20年代初めまでに「介護離職ゼロ」という目標を掲げますが、実現の道は見えません。

だいたい「ゼロ」を口にする一方、介護保険改悪を繰り返し、高齢者や家族に負担を強いる安倍政権のやり方自体が間違っています。

事態打開のために制度改革をやめ、国民が安心してできる公的介護の仕組み拡充が必要で

深刻なのは介護のためにいったん仕事を辞めた人がなかなか就職できていない

が平和で安心した生活が送られるようお願いばかりです。

（ニュース読者の声）

ことです。総務省調査によれば、再び職に就いた人は約25%にとどまり、75%強が無職者だったそうです。

親の介護のために退職する世代の多くは40〜50代とみられますが、その年代の再就職は困難なのが現実です。

しかも介護に専念する時期が長期化すればするほど、仕事から遠ざかる期間が長くなり、就職の機会を逸してしまい、社会からも孤立しがちになるケースがたふさんあります。介護離職者が仕事につけるよう保障する仕組みをつくるとともに、仕事を辞めないで介護ができるよう、介護休業制度を利用しやすく改善することなどが急がれます。

3丁目 山本久子

「第6次総合計画」が審議中 10年間の町の方角が決まります

「池田町第6次総合計画」策定のための審議会が、町の諸団体代表者12名と公募による3名の委員で進められています。

計画は2019年度から10年間の町政の全体像、政策の方角、全ての事業の根拠となる計画として策定します。

2回の討議で一部改正された、町事務局から次の提案がありました。

基本理念

「北アルプスの空のもと 豊かな心と文化を育み活力ある産業を拓く 魅力あふれる美しい町

基本目標

1. 地球自然環境を守り暮らしに活かす町、2. 未来を切り拓くたくましい子どもが育つ町、3. 人を引き付ける住みよい町、4. 産業の基盤を強め活性化する町、5. 支え合い健やかに暮らせる町、6. 地域の絆で創る安心安全な町。

審議会とは公開されています、委

読者のひろ

「ツレウツ 時々仲良し」

医師が今このまま入院をと告げた時、ツレが未練がましく「家に帰ってから、」と言った。医師は家に行つて気になるものを確かめてまた来てくださいと優しくいつてくれたが家に帰ったら入院したくないというのではないかと不安を感じながらも平静を装い、入院を逃れようというツレを騙し騙し、何とか入院させた。

入院した翌日部屋を訪ねるとツレはよく寝ていた。個室だったから気兼ねせずに病室で声をかけられたがツレは目をつむつたまま幸せそうな顔して寝ぼけたような返事をした。

聞いて！聞いて

これまでの暗い顔が嘘のような明るい顔つきだった。眠れていなかったんだなあ。つらかったろうなと思うと胸が痛んだ。なんでこんなになるまで気が付いてやらなかったんだろうとまたしても自分を責める声がした。うつ病らしいとわかってから本を買つては読んでいた。私のように身近な家族は自分を責めるといふ。ツレは自死を免れたが家族を失った人はその思いが一層強いものになるらしい。

後にツレの友人がうつ病になったと私に相談してきた夫人は「私の対応がどこかいけないかったのかしら」と真っ先に聞いた。彼女の心も私と同じだと思った。

安曇部真羊子（匿名）

レシピ じゃがいもと豚肉の煮物

レシピというほどのものではありませんがじゃがいもがとれとよく作ります。私は毎日食べてもあきず、たまに来る孫にも好評です。調味料の分量は自分の好みで調節してください。

材料

じゃがいも大3個、豚バラ肉50〜80g

- ・じゃがいもは大きく切る。
- ・鍋にサラダ油少量を熱して、豚肉を炒め、その後じゃがいもも少しいためる。
- ・水を材料が浸るくらい入れ、ほんだしを適量入れる。

・煮立ったら火を弱めあくをとり、落とし蓋をする。

・中火でじゃがいもが少し柔らかくなるまで煮て、砂糖、みょうゆで味付けをするくらいまで煮込み、をとめる。

